

民俗芸能の公演のお知らせ！

花巻市・円万寺神楽をご観覧下さい。

只今、友好都市特別展「イーハトーブ花巻・くらしと文化」（8月30日まで）を開催しています。そこで今回、下記の日程で花巻市に伝承されている円万寺神楽を御紹介致します。御家族おそろいでお出かけ下さい。



日時 1990年
8月18日（土）
午後2時
8月19日（日）
午前10時
午後2時

場所
博物館前庭
（雨天の場合は
博物館講堂）

円万寺神楽は、市内膝立に伝承されている神楽で、花巻では古い伝統をもつ民俗芸能の一つです。昭和36年には花巻市指定無形文化財、同49年には岩手県無形文化財に指定され、さらに昭和51年には文化庁の記録保存等を行う無形文化財に選ばれています。

この地に伝わった経路や年代はさだかではありませんが、羽黒系山伏神楽の流れをくみ、15世紀末に伝えられたのではないかと推測されています。

この地域に伝わる山伏神楽は、いずれも権現様と呼ぶ獅子頭を奉じて舞う権現舞を中心としますが、円万寺神楽の演目は、式六番として鳥舞・翁舞・三番叟・八幡舞・山神舞・岩戸舞をもち、他に鞍馬、天女、稻荷舞、五穀舞、金巻、三韓、蕨折、橋懸け、曾我、天王舞、さらに狂言として花下し、でく、兵衛、すり子、追掛け舞、狐捕り、とくさ長根、刀下し、宝下し、寺渡し、福狂言、熊沢、太郎狂言、饅頭売り、金五郎狂言などを伝えています。

神楽は7拍子の繊細かつ優雅な舞振りが特徴で、家々の悪魔払いや火伏せ、年祝いなどの求めに応じて行われたり、鳥谷ヶ崎神社などで演じられています。

岩手県指定無形文化財・円万寺神楽

博物館では、平塚市の友好都市・花巻市の歴史と文化を紹介する特別展「イーハトーブ花巻・くらしと文化」を開催中です。この特別展とあわせて、直に花巻の文化に触れていただくために、民俗芸能の公演を行います。

花巻市膝立に古くから伝わる円万寺神楽保存会の方々に来ていただき、岩手県の無形文化財に指定されている神楽を公演いたします。なお、円万寺神楽とあわせて、同じく膝立の方々によるシンガク（神楽）も公演します。

- 公演日時 8月18日（土） 午後 2時
8月19日（日） 午前10時
午後 2時

- 公演会場 博物館前の文化公園 緑陰コーナー（雨天の場合は博物館講堂）



円万寺神楽は、市内膝立に伝承されている神楽で、花巻では古い伝統をもつ民俗芸能の一つです。昭和36年には花巻市指定無形文化財、同49年には岩手県無形文化財に指定され、さらに昭和51年には文化庁の記録保存等を行う無形文化財に選ばれています。

この地に伝わった経路や年代はさだかではありませんが、羽黒系山伏神楽の流れをくみ、15世紀末に伝えられたのではないかと推測されています。

この地域に伝わる山伏神楽は、いずれも権現様と呼ぶ獅子頭を奉じて舞う権現舞を中心としますが、円万寺神楽の演目は、式六番として鳥舞・翁舞・三番叟・八幡舞・山神舞・岩戸舞をもち、他に鞍馬、天女、稲荷舞、五穀舞、金巻、三韓、蕨折、橋懸け、曾我、天王舞、さらに狂言として花下し、でく兵衛、すり子、追掛け舞、狐捕り、とくさ長根、刀下し、宝下し、寺渡し、福狂言、熊沢、太郎狂言、饅頭売り、金五郎狂言などを伝えています。

神楽は7拍子の繊細かつ優雅な舞振りが特徴で、家々の悪魔払いや火伏せ、年祝いなどの求めに応じて行われたり、鳥谷ヶ崎神社などで演じられています。

花巻の民俗芸能

名 称	所 在 地	指 定	名 称	所 在 地	指 定		
神楽系 (神楽・権現舞・神楽)			胡四王太神楽				
成田神楽	花巻 成田宿	県指定	矢沢上市太神楽	矢沢 上市			
円万寺神楽	湯口 膝立		高木太神楽	矢沢 高木			
上根子神楽	湯口 上根子		細屋太神楽	宮野目・田力			
鉛古代神楽	湯口 鉛		葛太神楽	宮野目 葛			
小瀬川神楽	湯本 小瀬谷		大森太神楽	太田 大森			
大畑神楽	湯本 大畑		桔梗田太神楽	太田 中央			
金矢神楽	湯本 金矢		念仏踊系 (念仏・念仏剣舞・鬼剣舞)				
北湯口神楽	湯本 北湯口		豊沢大念仏剣舞	湯口 旧豊沢		市指定	
羽山神楽	湯本 台		大畑念仏剣舞	湯本 大畑		市指定 市指定 市指定	
糠塚神楽	湯本 糠塚		鞍掛念仏剣舞	矢沢 鞍掛			
幸田神楽	矢沢 幸田		葛大念仏	宮野目 葛			
胡四王神楽	矢沢 矢沢		太田中央大念仏剣舞	太田 中央			
高木小路神楽権現舞	矢沢 高木		櫛ノ目鬼剣舞	湯本 櫛ノ目		市指定	
高木岡神楽権現舞	矢沢 高木		南笹間鬼剣舞	笹間 南笹間			
堰袋金比羅神楽権現舞	矢沢 堰袋		鹿 踊				
高木地ノ神権現舞	矢沢 高木		鍋倉鹿踊	湯口 鍋倉			
震輪神楽権現舞	矢沢 高松		湯本鹿踊	湯本 上湯本		市指定	
矢沢白山神楽権現舞	矢沢 榎ノ木		櫛ノ目鹿踊	湯本 櫛ノ木			
平良木神楽権現舞	矢沢 高松	北湯口鹿踊	湯本 北湯口				
荒屋敷山伏神楽権現舞	矢沢 東十二丁目	糠塚鹿踊	湯本 糠塚				
島南神明会	矢沢 東十二丁目	上ノ山鹿踊	宮野目 葛	市指定			
中道金牛会	矢沢 東十二丁目	農耕予祝系 (田植踊・百姓踊・稼踊)					
上駒板神楽権現舞	矢沢 上駒板	豊沢田植踊	湯口 旧豊沢				
内高松神楽権現舞	矢沢 高松	大沢田植踊	湯口 大沢				
胡四王婦人権現舞	矢沢 矢沢	湯本田植踊	湯本 上湯本	市指定			
葛神楽	宮野目 葛	北湯口田植踊	湯本 北湯口				
田力稲荷神社神楽権現舞	宮野目 田力	櫛ノ目田植踊	湯本 櫛ノ目				
石持神楽権現舞	宮野目 東宮野目	上駒板田植踊	矢沢 上駒板				
下似内神楽権現舞	宮野目 下似内	上ノ山田植踊	宮野目 葛				
細屋神楽権現舞	宮野目 田力	平良木百姓踊	矢沢 平良木				
新山神楽権現舞	宮野目 上似内	桜町稼踊	花巻 桜町				
葛中婦人権現舞	宮野目 葛	才ノ神稼踊	湯口 才ノ神				
宮古路神楽	太田 宮古路	太田姥宿稼踊	太田 姥宿				
太田神楽	太田 太田	その他 (奴踊・さんさ踊など)					
北笹間山伏神楽	笹間 北笹間	北湯口奴踊	湯本 北湯口		市指定		
南笹間神楽権現舞	笹間 南笹間	五郎城奴踊	湯本 下湯本				
宇南神楽	笹間 轟木	葛奴踊	宮野目 葛				
獅子舞系 (太神楽・七福神舞)			南笹間奴踊	笹間 南笹間			
成田宿太神楽	花巻 成田宿	荒屋敷さんさ踊	矢沢 東十二丁目				
大谷地七福神神楽	花巻 大谷地	花巻統一さんさ踊	花巻市内一円				
下沢田太神楽	湯口 鍋倉	花巻北秀鬼太鼓	花巻十二丁目				
北湯口太神楽	湯本 北湯口	熊野飛龍太鼓	矢沢 東十二丁目				
北湯口太神楽	湯本 北湯口	花巻ばやし	花巻市内一円				
糠塚太神楽	湯本 糠塚	高木女芝居	矢沢 高木				

友好都市特別展

「イーハトーブ花巻・くらしと文化」

花巻市との交流は、昭和57年4月の市民休養の郷としての提携に始まり、昭和59年4月からは友好都市として一層深まりました。

花巻市は岩手県のほぼ中央部に位置し、東に北上山地、西に奥羽山脈を望み、市域を南北に北上川が流れています。人口は7万余で、岩手県では盛岡市に次ぐ規模をもち、古くから稗貫・和賀地方の中心地として発展してきました。

現在の花巻市への歴史的な基礎がつけられたのは、南部氏の命をうけて郡代に就任した北秀愛、北信愛（松斎）の時代で、16世紀末から17世紀にかけてです。稗貫・和賀地方の政治経済のかなめとしての役割を果たしてきました。

今回の特別展では、こうした花巻市の歴史の一端を絵図などによって紹介するとともに、庶民のあいだに沈着している生活文化に焦点をあててみました。生活の基盤である農耕具や麻織物、ワラ細工、落ちついた彩りをもつ花巻人形、多彩な民俗芸能、さらにこうした風土のなかで生まれた宮沢賢治の文芸などを紹介します。

◎ 特別展会期 7月21日～8月30日（休館：月曜日、7月31日）

◎ 民俗芸能の公演 岩手県無形民俗文化財 円万寺神楽

期日：8月18日（土） 午後2時～

8月19日（日） 午前10時～、午後2時～

会場：博物館 前庭（雨天時は博物館講堂）



◎ プラネタリウム
特別投影

—宮沢賢治の
「双子の星」—

（毎、水・木・土・日曜日の11時、14時投影）

● 花巻市内にはいろいろな神楽が伝承されています。その神楽の一場面です。